

今後の検討スケジュールについて

<検討事項>

- 2013 年以降の対策・施策について
- 「他の追随を許さない世界最高水準の省エネ」、「後塵を拝した再エネを世界最高水準に引き上げ」、「対策の裏付けとなる施策を明示」がされているかについては、3 月 2 日のエネルギー供給 WG、3 月 7 日の住宅・建築物 WG、地域 WG、3 月 15 日の低炭素ビジネス WG の報告を踏まえ検討、評価を行う。
- 「世界をリードするグリーン成長国家の実現」を達成するものとなっているかについては、各 WG からの報告が終了した後の各 WG の検討を踏まえた議論の際に検討、評価を行う。

<検討スケジュール>

2011 年度

- 8 月 2 日 第 1 回
東日本大震災を踏まえ、低炭素社会構築のために議論すべき論点
について(1) 等
- 8 月 30 日 第 2 回
東日本大震災を踏まえ、低炭素社会構築のために議論すべき論点
について(2)
ワーキンググループの設置について 等
- 9 月 29 日～12 月 21 日 第 3 回～6 回
関係者からのヒアリング 等
- 1 月 18 日 第 7 回
関係者からのヒアリング
国内外の動向等について 等
- 2 月 10 日 第 8 回
関係者からのヒアリング総括
コミュニケーション・マーケティング WG 報告 等

- 2月22日 第9回
マクロフレーム WG、技術 WG 報告 等
- 2月27日 第10回
自動車 WG 報告 等
- 3月2日 第11回
エネルギー供給 WG 報告 等
- 3月7日 第12回
住宅・建築物 WG、地域づくり WG 報告 等
- 3月15日 第13回
低炭素ビジネス WG 報告 等
- 3月28日 第14回
各 WG の検討を踏まえた議論
技術モデルによる分析結果の検討 等
- 4月12日 第15回
各 WG の検討を踏まえた議論
技術モデルによる分析結果の検討 等
- 4月19日 第16回
小委員会のとりまとめに向けた議論 等
- 5月9日 第17回
小委員会のとりまとめに向けた議論 等

経済モデルによる経済分析等を踏まえ、地球温暖化対策の選択肢の原案や
2013 年以降の対策・施策についてのとりまとめに向けて議論

※検討状況については、順次、委員長及び事務局から中央環境審議会地球環境
部会に報告を予定。